

トマト銀行における産学官金連携活動について

トマト銀行 地域成長戦略応援部 野瀬 真治

(1) 背景

当社は、ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化として、大学やその他の団体との連携に積極的に取り組んでいる。平成19年3月30日、岡山大学との包括協定の締結を皮切りに現在5大学と提携を行っている。

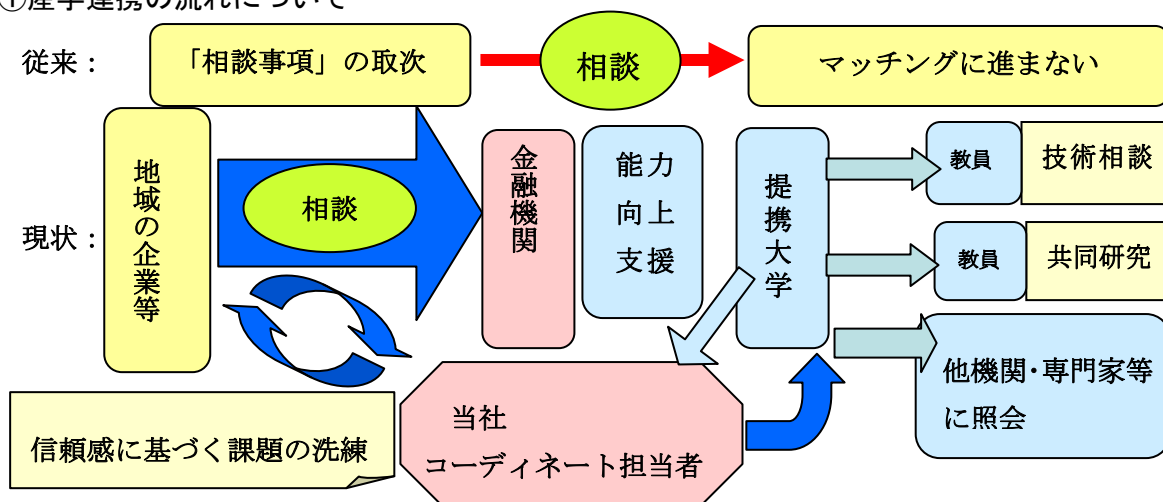
また、岡山大学からは、当社の産学連携を担当する3名の社員に対して委嘱状を交付している。

産学連携に関する包括協定の締結状況

提携日	提携先
平成19年3月30日	岡山大学
平成20年7月24日	岡山県立大学
平成21年4月20日	中国職業能力開発大学校
平成21年10月28日	岡山理科大学
平成23年6月10日	岡山商科大学

(2) 活動内容・推進策等について

①産学連携の流れについて



当社の営業担当者は、顧客ニーズの発掘に努め、具体的な案件相談に至った場合、当社のコーディネーターに取次ぐ。当社のコーディネーターは情報を精査し、訪問の必要がある案件については訪問を行い、産学連携について、連携の流れ、費用、共同研究または技術相談の流れ等を詳しく説明する。当社のコーディネーターは大学の特性を考慮し、シーズに合う案件については、大学側のコーディネーターに取次ぎを行う。

- ・岡山大学による金融機関産学連携マネージャー育成研修会の実施
- ・コーディネーター連携会議の実施
- ・各大学コーディネーターと当社会員組織（トマトクラブ会員）との交流会実施

②相談案件について

相談年度	相談件数
19年度～21年度	65件
24年度	3件
25年度	12件
26年度（4月～9月）	6件

③成約案件について

提携先	実績
岡山大学	・ 寄付金 ・ 相談企業の取扱う原石の異物除去についての研究
岡山県立大学	・ 共同研究 ・ ホテルのブランディングとロゴマークデザインに関する研究
中国職業能力開発大学校	・ 共同研究 ・ 精密ばね疲労試験機の開発
岡山理科大学	・ 受託研究 ・ エスケーシャーネット工法の構造安全性に関する研究
	・ 受託研究 ・ 食茸の液体培養にともなう形態変化と多糖生産に関する研究

(3) まとめ

問題点・課題

地域金融機関と大学法人（大学校）が、その違いを超えて持続的な協力関係を維持し、地域活性化のための産学官連携体制を継続していくためには色々な課題があると思われるが、産学官金連携活動における課題や問題点としては、以下のような点がある。

- ・ 最終的な産学官金連携の目標を明確にする
- ・ 産学官金連携による地域産業界の発展をどのような尺度で図るか（評価）
- ・ 金融機関のメリットの求め方

上記の課題や問題点を克服して産学官金連携の成果を上げるには、双方の組織間で信頼感に基づく連携をより強固にしていくこと、そのために双方が目指すべき活動の方向性を一にすることが重要である。また、金融機関として産学官金連携の成果として何らかの収益が得られる仕組みを構築することも将来的には必要がある。